



開基120年記念特集

No.2

「北緯45度の大地に生きる動物たち」

撮影・文：富士元 寿彦氏

「春うらら リス2種との遭遇」



5月中旬、ふるさとの森での出来事です。白いオオバナノエンレイソウが咲き、エゾノタチツボスミしも咲き始めた南斜面で、餌を食べているエゾシマリスがいました。写していると、そこにエゾリスが現れるというハプニングが起きたのです。同じリスの仲間ですが、ほとんどが地上生活者のエゾシマリスと、樹上生活者のエゾリスが一緒になるシーンは希です。

秘境駅：雄信内駅 ～今月の駅ノート～

今月の「駅ノート」は、積雪期に除雪係員が常駐する雄信内駅です。



町内でも特に雪の深い雄信内駅構内です。

仕事で移動しながら写真撮っています。もちろん、時々、宗谷本線を使っています。除雪の作業、いつもありがとうございます。

KUCC 甲輪会 とうちゃこ〜

取材記者・鉄道大好き T>

山裾の、とても雪の深い所ですが、大正14年開駅のロマンあふれる重厚な駅舎は、仕事で訪れる方々にも魅力いっぱい感じられるのでよね。

かつて、この地区には旅館・豆腐店・料理店・工務店・鉄工所などが在り、昭和45年には食料品店・鮮魚店・菓子店・日通が営業していたそうですが、現在では、ほとんど面影もありません。昭和57年に小学校が閉校、昭和59年に駅窓口が無人化されています。

沿線にお住まいの方でしょうか？ 宗谷本線をご利用いただきありがとうございます。駅や鉄道利用者、保線や運行に携わる方々のご協力により地域交通としての路線は成り立っています。未永く走り続け、駅が存続されることを願っています。

三月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

里山や弾む小鳥の早春賦
 早春の夕餉に満ちるカレーの香
 早春に風車の羽根が迫りくる
 暴風が蹴散らす早春北海道
 早春やまた口ずさむヒット曲
 早春の野にあまりある鳶の空

横山 貞雄
 富樫 堅一
 富樫とも子
 熊谷千恵子
 佐藤 光朗
 田中 徹男

ほろのべの裏窓

卒業シーズンが終わったと思ったら、春の訪れとともにすぐに入園・入所・入学式です。当然といえば当然なのですが、中学校の入学式に取材で伺うと、新入生は、先日小学校の卒業式で卒業生として見送られていた子たち。それでも、彼らが二つの式で見せる雰囲気は違って、数週間の間にごくと大人びたように見えました。

■わが家のエンジェルに載っていた赤ちゃんを、成人式の写真で見つける日もそう遠くない未来なのかもしれません。

【総務財政課総務グループ
 総務への「意見」・「要望」をお寄せください
 総務財政課総務グループ
 電話 51111 / 先端末機 51811



男	1,190(-28)
女	1,167(-11)
計	2,357(-39)
世帯数	1,244(-15)

まちのこぎ
 (平成30年3月末日現在)
 ※()内は前月比

平成30年5月 発行/天塩郡幌延町
 企画・編集/総務財政課総務グループ
 幌延町ホームページアドレス/ http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
 印刷/株式会社須田製版